

第4回検討委員会意見を踏まえた対応・修正案（令和8年6月5日）

○都市計画マスタープラン

検討・修正に係る発言	対応・修正案
岡山市との生活上のつながりなど広域的な視点を反映させた計画とすべき	<p>P4で岡山県南広域都市計画区域マスタープランにおける本市の位置付けを整理します。</p> <p>人口が減少する中で効率的な都市運営を行っていくためには、関係自治体等との広域的な連携と役割分担のもとで、地域特性にあわせた相互補完を図る必要があります。</p> <p>市内で不足している都市機能については、岡山市などの近隣市にある都市機能を利用できる都市構造が必要であるため、県が広域的な見地から定める岡山県南広域都市計画区域マスタープランに即し、広域連携軸を設定するなど、広域的な視点を踏まえた都市構造を目指します。</p>
宇野周辺に集約することが前提になっており、実態と乖離しているのでは。	<p>本市が抱えている課題として人口減少等に伴う都市機能の減少などが挙げられます。また、中心市街地に立地している都市機能が広く市内の暮らしを支えています。</p> <p>これらの都市機能を維持するためには、これらの都市機能を利用しやすい環境の形成が必要と考えています。そのため、都市計画としては、土地利用や都市施設などの方向性を示すことで課題解決に向けた取組を推進していきたいと考えています。</p>
都市施設整備方針、(1)道路・交通施設整備方針、2)主要な施設の整備方針、②公共交通について、観光まで想定したときにJR岡山駅や岡山空港との接続連携まで見据えた書き方しておくべき	<p>【修正案】(P58)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR岡山駅や岡山空港と本市交通拠点の接続を見据えた「工場のオープンファクトリー」による新たな観光産業等と連携した生活交通ネットワークの維持・確保を目指します。
下水道の埋設関連施設の劣化度調査は終わったのか。	<p>本市では、平成12年の玉4丁目地内における道路陥没を受け、管路施設の老朽化対策や耐震化対策を実施してきました。</p> <p>令和7年度末現在で、汚水幹線管路52kmのうち、布設から30年以上が経過した管路は25kmあり重要な管路から調査等を実施しています。</p> <p>調査・改築が完了した管路延長は19kmあり、未実施の管路延長は6kmとなっています。</p>

	<p>近年、全国的に管路施設の老朽化問題が取りざたされていますが、埼玉県八潮市のような道路陥没事故が発生しないよう、計画的な調査や改築更新を実施し、適切な維持管理に努めていきたいと考えています。</p>
--	---

○立地適正化計画

検討・修正に係る発言	対応・修正案
<p>高潮の取組方針について、後閑西海岸高潮事業の図に変更するということが、マイ・タイムラインを強調した方が良いのではないかと。</p>	<p>マイ・タイムラインを残した上で後閑西海岸高潮事業の図面を追加します。(P83)</p>
<p>復旧・復興を促進する機能をどのように守っていくのかを加えておいた方が良いのではないかと。</p>	<p>都市計画マスタープランの「都市防災の整備方針」の基本的な考え方において、「災害に強く迅速な復旧復興が可能なまちづくりを進めます。」とし、海岸保全施設の機能確保等のハード対策などの取組を推進します。(都市マス P73)</p>
<p>居住誘導区域を円で決めているが、土地区画整理事業区域など、近接している場所は考慮してもよいのではないかと。</p>	<p>円で決める居住誘導区域に隣接する土地区画整理事業による基盤整備区域を居住誘導区域に含めません。(P48、49)</p>
<p>居住誘導区域は円弧状に設定してよいのか。川や山で隔たれた箇所も誘導区域に入ってしまうこともある。地形も加味した方がよいのではないかと。</p>	<p>住宅の建築が見込まれない風致公園などの大規模公園や競輪場などの低密度な土地利用区域は居住誘導区域から除外します。(P48、49)</p>
<p>防災まちづくりの将来像について、集落での自助、共助は厳しい。将来を見据えて地域住民に伝わるようなアクションを示してほしい。</p>	<p>防災まちづくりの将来像として、総合計画における【安全・安心】分野のまちづくり像に「自助・共助・公助の連携・協働」を追加し、安全安心に暮らせるまちの実現を目指します。(P79)</p> <p>「公助」の取組としては、防災活動のほか、P86、87に取組一覧を示しているように、「自助・共助」の取組である「自主防災組織」の設立や活動、「要配慮者の個別避難計画」の作成などの取組を支援します。</p>